

## レガシーシステム見直しのための国土交通省行動計画 (アクション・プログラム)

### 1. 見直しの対象とするレガシーシステム

- ・ 自動車登録検査業務電子情報処理システム
- ・ 気象資料総合処理システム (C<sup>シ</sup>アデス系)

### 2. 各レガシーシステムの見直しに向けた作業

#### (1) 自動車登録検査業務電子情報処理システム

自動車登録検査業務電子情報処理システム(以下「M<sup>モ</sup>O<sup>ー</sup>T<sup>タ</sup>A<sup>ス</sup>」という。)は、2004年(平成16年)1月に新しいシステムに移行することとしており、現在その作業を行っているところである。この新しいシステムは、現行と同様のメインフレーム型システムにより8年間稼動することとして設計されている。したがって、この新しいシステムについて、最適化に向けた検討を行うこととする。

#### レガシーシステム刷新可能性調査の実施

2004年(平成16年)1月に移行する新しいシステム(以下「旧システム」という。)をオープンプラットフォーム型システム(以下「新システム」という。)に刷新した場合に、システム利用者に対する利便性を保ちつつ、トータルコスト(初期コスト+ランニングコスト×耐用年数)を下げるのが可能か否かについて、2003年度(平成15年度)よりM<sup>モ</sup>O<sup>ー</sup>T<sup>タ</sup>A<sup>ス</sup>刷新可能性検討委員会を立ち上げ、2004年度(平成16年度)に当該システムと関係のない外部調査機関を利用した刷新可能性調査を実施し、当該委員会において、その調査結果に基づき、2004年度中(平成16年度中)を目途に、旧システム及び新システムの効率性、経済性を中心に以下の評価を行い、その結果を公表する。

#### a. 効率性の評価

- ・新旧システムにおける業務処理過程の合理性  
自動車登録検査業務内容に対して必要かつ十分な業務処理が実現されているか（過剰な業務処理が含まれていないか 等）
- ・新旧システム構成の合理性  
自動車登録検査業務処理過程及びデータ処理件数、データ量に対して信頼性、安全性を含め必要かつ十分な性能を発揮できるシステム構成となっているか（メインフレーム、サーバ、ネットワーク、アプリケーション、データベース 等）

#### b. 経済性の評価

新旧システムにおける導入方法の適正化について、下記の導入方法ごとに導入時期（早期導入の可能性）も含め、その妥当性をそれぞれ検証する。

- ・国土交通省自らが機器・ソフトウェアを調達・外注し運用する場合
  - 開発・運用経費の算定方法の妥当性
  - 競争入札に移行する場合の課題（随意契約で行われている場合）等
- ・データ通信役務サービスを利用する場合
  - データ通信役務サービス使用料の算定方法の妥当性
  - データ通信役務サービス以外の方式に移行する場合の課題 等

#### 最適化計画の策定

モータース刷新可能性検討委員会の検討結果を踏まえ、2005 年度中（平成 17 年度中）に「業務・システム最適化計画策定指針（ガイドライン）」に則って業務プロセスの見直しや業務・システムの将来像からなる最適化計画を関係機関と調整の上策定する。

#### 最適化の実施

関係機関と協議の上、2006 年度末（平成 18 年度末）までに本システム及び関連業務の最適化について結論を得る。

### （ 2 ） 気象資料総合処理システム

本システムは 1995 年度（平成 7 年度）に整備したメインフレームシステム

であり、老朽化が進んでいるとともに、IT施策に適合した気象情報の高度化を推進するにあたり通信・データ処理能力が十分ではないため、最適化計画を策定し2005年度（平成17年度）早期に本システムを改良・更新する。また、改良・更新後においても、構築したシステムの適正性に関して、当該システムと関係のない外部専門家による監査を定期的に受け、結果を公表する。

#### レガシーシステムの刷新可能性調査

刷新可能性の分析を実施し、新システムに刷新することにより、システム利用者に対するサービス向上を図りつつ、トータルコスト（初期コスト＋ランニングコスト×耐用年数）を下げる事が可能であるとの結論を得た。その調査結果を気象庁ホームページに公表した。

#### 最適化計画について

レガシーシステムの刷新可能性調査を踏まえ、気象庁のスーパーコンピュータシステムなどを含めた気象資料処理に関連する全体システムとして、サービスの高度化に伴うデータ量の増大とプログラムの複雑化等に柔軟に対応しつつ、24時間連続稼動に耐える安定性、信頼性を確保した効率的な新システムを構築すべく、「業務・システム最適化計画策定指針（ガイドライン）」に沿って最適化計画を見直し、整備を進める。

#### 最適化の実施

競争入札による契約を実施しており、2005年度（平成17年度）には最適化されたシステムを稼動させ業務の最適化を図る。

### 3. 全体スケジュール

